

ありがとう スーザン先生

A L T（英語指導助手）として本町の子どもたちの英語教育に尽力してくださったスーザン・ワードさんが、8月の任期満了に伴い帰国されました。

スーザンさんは本町4人目のA L Tとして昨年8月に着任。

主に中学生の英語指導に当たっていましたが、その他にも町の英会話教室講師やさつま園の慰問など町民の方々との交流を図っていただきました。帰国後は、医師を目指してより一層勉学に励まれるとのことでした。今後のご活躍をお祈りします。

スーザンさんから日本語でお礼の手紙をいただきましたので、ご紹介します。

（ほぼ原文のままですが、誤字等を一部修正しました。）



薩摩町の皆さんへ

私は8月1日にイギリスに帰るつもりです。1年間しか薩摩町に住んでいませんでした。この1年間は面白かったけどすごく短すぎたと思います。最初から薩摩町の人々が温かく歓迎してくれました。「田舎の人はすごくやさしいな」と思いました。しかし最初は大変だったです。日本語がなかなか出来なかったからです。特に鹿児島弁はぜんぜん分からなかったです。

イギリスから、ちょっと孤立したと思いました。しかし、少しずつですが、日本の生活になれました。いろいろな新しい体験が出来て、うれしかったです。10月には習字教室に入会しました。初めて筆を手にした時の気持ちは「難しいな」と思いました。私の最初の習字はすごく下手だったので、今それを見ると笑いたくなります。でも毎週練習を重ねて、なかなか上手に出来ました。そして「入門書林」にも二回載ってうれしかったです。

日本の人とコミュニケーションが出来るようになるために、毎日日本語を勉強しました。12月には福岡市で、日本語検定試験3級を受けました。その試験はすごく難しすぎたと思ったから、私は不合格だと思いました。それから2ヵ月間ぐらいして、ついに結果が出て、合格しました！私はすごくびっくりして、うれしかったです！さらにもっと勉強をしたかったので今年の12月にロンドンで、日本語検定2級を受けようと思っています。それから、11月14日から1月30日まで、英会話教室で英語を教えました。出席者は大人の教室で20人、子供の教室で9人でした。教室ではあいさつをしたり、数字を発音したり、道順の聞き方をしたり家族の紹介を勉強しました。最後の教室では宮之城に行き、カラオケで英語と日本語の歌を歌いました。子供の教室では英語を使いながら、たくさん遊びました。皆良い生徒でありました。

薩摩町では素晴らしい思い出がいっぱいです。今年の夏祭りで浴衣を貸していただいて、私はやさしい女の子に着せてもらいました。夏祭りオープニングで中学校のすいそう楽を初めて聞いたときは「うわーうまいじゃない！」と言いました。私は楽器を弾くことがぜんぜん出来ないから羨ましかったです。

町運動会では私は永野の人と一緒に踊りました。踊りが出来なかったから、はずかしかったけど私にとって、本当に楽しかったです！

秋祭りも、すごくいい天気でしたね。売店でおいしい焼き芋とか、お茶とかおかしなど買いました。それでミニ上棟式で屋根の上から、男の人が飴やおかしなど投げました。なぜか分からなかったけど私は子供たちと一緒に飴を拾ってみました。

それから、中津川と永野小学校で稲刈りをしました。私はとっても面白かったけど時間が短かったです。農家にとって、毎日作業をするのは大変だと思います。感心でした。その後お母さんたちがおいしいおかしを作ってくださいました。おいしかったです。ありがとう！

それから、毎週2時間ぐらい、さつま園を見学するために訪ねました。さつま園の人には大変お世話になりました。ありがとうございました。

イギリスに帰ってから、私の夢である「医者」になりたいということで、医学の勉強を続けるつもりです。

この1年間はよい医者になるためにいい経験だったと思います。イギリスにも外国人がいっぱい住んでいます。殆どは英語が出来ないそうです。今その人たちの気持ちがよく分かります。日本では、私の一番大きな問題は日本語が出来ないことです。薩摩町の人と会話する時、私は「はい」としか言えませんでした。ごめんなさい。本当はいろいろな事について話をしたかったのですが。

私の本当の仕事は英語とか外国について教えることですがこの1年間で、学ぶことは教えることより多いでした。薩摩町の皆さんには大変お世話になりました。特に教育委員会の皆さんです。

この1年間は素晴らしい経験になりました。薩摩町のことをぜったい忘れません。 おやっとなー

スーより



▲さつま園のレクリエーションに参加しました